

保護者会は、実技がおすすすめ 保護者も納得！ ミニ授業

保護者会で授業の様子を伝えようとする、どうしても説明的になってしまいますね。

そこで、子どもに教えているとおりに、お母さん相手に模擬授業をやってみるのがお薦めです。指導方法やねらいなどがよくわかって、これが大変好評です。授業の様子を効果的に伝えることもできます。

準備するもの

- ・教科書（子どもたちが使っている物を、引き出しの中に置いていってもらう）
- ・ノート（子どもたちが使っている物）
- ・漢字スキル、計算スキルなど（子どもたちが使っている物）

机の配置

これは、自分の子どもの席に、お母さんに座ってもらうのがいいでしょう。引き出しを出せば、教科書やノートなども入っています。引き出しの中の整頓状況もわかってしまいます。



指示しながら解説をする

国語の模擬授業

- ・漢字スキルの指導
- ・音読の指導
- ・詩の授業 など

模擬授業をやりながら、なぜ、そのようなことをするのか、またクラスの子どものレベルを最高と最低で数字を入れて状況を説明します。すると、必ず親は、「私のこの読み方でこの辺まで読めた。うちの子は、どのくらい読めているのかな」と思って、必ず家で試すようになります。これが大事なのです。

また、詩の授業なども子どもと同じように発問します。実際の授業で使った子どものノートを開き、我が子はどのように答えているのか確認してもらうと、母親たちは興味津々でノートを開けます。

このようにすると、自分の子どもの国語力がわかって、なるほど、先生が言うように、やっぱり本を読ませないといけないな、という気持ちになっていきます。

算数の模擬授業

- ・ノート指導
- ・計算練習の指導 など

親は、自分の子どもに、できればよいアドバイスをしたいと思っています。そこで、どんなノートの使い方がよいのか、どんな計算練習のやり方がよいのか、模擬授業を通して、お母さん方に知っていただきます。

親が必要としている情報を、効果的に伝える方法としての模擬授業は、とても素晴らしい成果を期待できます。